



市之瀬 敦 教授

最終講義

「ポルトガル語の未来を思う」

ポルトガル語圏世界の明日は、多くのチャンスを約束してくれる。春の訪れを前に、ポルトガル語の世界が秘めたポテンシャルについて、前向きな気持ちで話し合ってみたい。

2026年2月28日(土) 11時～12時

講義の後、12時～14時で、懇親会を開催します。

会費:3,500円(学生は2,000円)

会場:上智大学四谷キャンパス13号館3階 304会議室

開催形式:ハイブリッド(対面&Zoomオンライン※) <要申込>

※ オンラインにて参加ご希望の方には、後日Zoom情報をお知らせいたします。

参加申込期限:1月31日(土) 定員に達し次第、締め切らせていただきます。

以下リンクまたはQRコードからお申込みください。

<https://sophia-portugal.peatix.com/view>

定員: 対面 60名／オンライン 100名



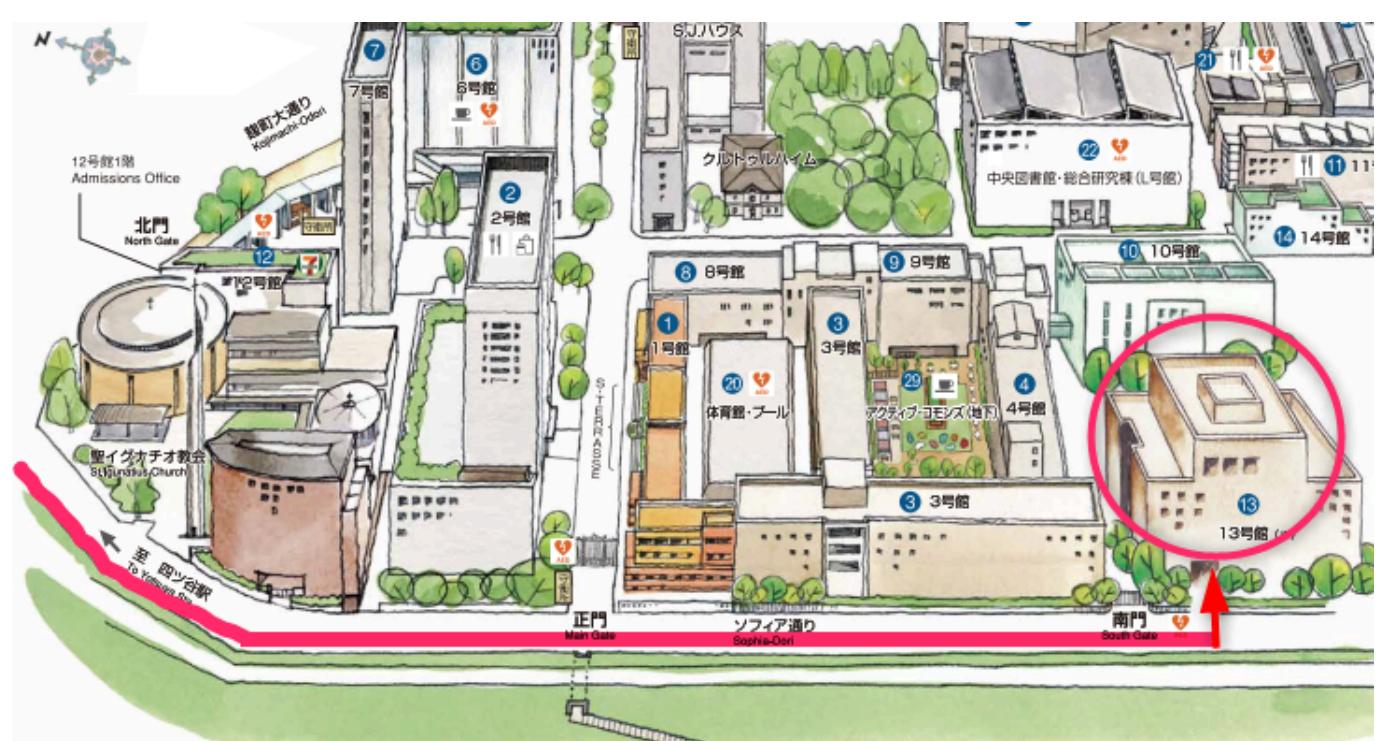
市之瀬 敦 (いちのせ あつし)

1961年生まれ。1987年、東京外国語大学大学院修士課程(ロマンス系言語専攻)修了。文学修士。在ポルトガル日本大使館専門調査員、上智大学外国語学部ポルトガル語学科専任講師、助教授を経て、2007年、同学科教授。

『中級ポルトガル語のしくみ』『クレオールな風にのって ギニア・ビサウへの旅』『ポルトガル・サッカー物語』『海の見える言葉 ポルトガル語の世界』『ポルトガル 革命のコントラスト カーネーションとサラザール』『ポルトガル震災と独裁、そして近代へ』など多数の単著のほか、『日本語から考える！ポルトガル語の表現』(共著)『プログレッシブポルトガル語辞典』(共編)、『必携 ポルトガル語文法総まとめ』(単著)などポルトガル語の辞書や教科書を執筆。

2010年、ロドリゲス通事賞(在日ポルトガル大使館)およびメリト(功労)勲章コメンダドール章を受賞。

ソフィア通りから13号館への行き方
(キャンパス内からは入れません)



お問い合わせ:ポルトガル語学科事務室
dlbraz@sophia.ac.jp